

定例会議案・町長の行政報告..... 2～3
決算審査特別委員会..... 4～5
一般質問..... 6～11
読者アンケート..... 12
常任委員会活動..... 13
一部事務組合・私も一言..... 14～15
議会の動き・編集後記..... 16



QRコード



～夢・未来へ～
町民と議会をつなぐ

第**91**号
令和3年11月5日

河津町議会だより

令和3年第3回町議会定例会(抜粋)

令和3年第3回定例会
が9月7日～22日の16日
間の日程で開催された。
全23議案を審議し、全て
原案通り全会一致で可決
した。

報告案件2件

河津町健全化判断比率
と公営企業(水道・温泉
事業)の資金不足比率に
ついて、令和2年度決算
においては両判断基準、
共に健全であることが報
告された。

諮問案件1件

人権擁護委員
後藤 一代(田中)

条例案件5件

河津町廃棄物の処理及
び清掃に関する条例の一
部改正が可決され、令和
4年4月から可燃ごみ袋
にごみ処理手数料を乗せ
て販売する。

決算認定8件

議員全員で構成する決
算審査特別委員会におい
て集中審議を行った。

議員発議の意見書2件

第1常任委員会より「コ
ロナ禍による厳しい財源
状況に対処し地方財源の
充実を求める意見書」が
発議可決した。
第2常任委員会より、
「新型コロナウイルス感
染症対策に関する意見書」
が発議可決した。

追加日程

補正予算1件

一般会計補正予算(第
5号)は歳入歳出それぞ
れ1243万5千円を追
加し歳入歳出の総額を45
億7658万9千円とし
た。この補正予算は、新
型コロナウイルス感染症
対応地方創生臨時交付金
を財源として町内のコロ
ナ対策に使われる。

町長の行政報告 (抜粋)



新型コロナウイルス関連

8月8日から河津町が
「まん延防止等重点措
置地域」の対象になり、8
月20日から「緊急事態宣
言」の適用を受けた。こ
れにより、観光施設はガ
イドラインに沿って閉鎖
した。また、「河津フラワー
トライアスロン大会」「総
合防災訓練」「地区敬老
行事」「町民体育大会」
等を中止した。

ワクチン接種事業は、
高齢者を対象とした集団
接種は7月30日に終了し、
90%の方が2回の接種を
完了した。8月2日から
64歳以下対象の集団接種
を開始し、前半グループ

水道事業給水条例の一
部改正が可決され、令和
4年4月使用分から水道
料金が改定となる。

計画策定案件1件

国の法改正により河津
町が過疎地域指定され、
「河津町過疎地域持続的
発展計画」を策定した。

補正予算2件

一般会計補正予算(第
4号)は、歳入歳出それ
ぞれ2億2129万9千
円を追加し、歳入歳出の
総額を45億6415万4
千円とした。この補正に
は新型コロナウイルスワ
クチン接種、GIGAス
クール構想に関する費用
等が含まれる。
介護保険特別会計補正
予算は歳入歳出それぞれ
1463万5千円を追加
し、歳入歳出の総額を10
億6177万円とした。

小学校統合関係

が9月11日に終了。後半
グループも順次行う。9
月11日現在で、12歳以上
の接種者は5185人。
対象者の78.7%。

熱海市への職員応援派遣

熱海市で発生した土石
流の被災地支援として、
8月6日～10日、9月6
日～10日、9月20日～26
日まで、職員各1人計3
人を派遣した。

コミュニティセンター

耐震対策事業

6月28日に竣工検査を
終え工事を完了。7月5日
から利用を再開した。

子ども議会

8月10日に議会の協力
を得て、今年で4回目と
なる「令和3年河津町子
ども議会」を開催した。
3小学校の5・6年生か
ら4人の子ども議員が質
問した。未来を担う子供
たちの思いを受け止め、
町づくりに活かしたい。

大学生等支援給付事業

147人から申請が有
り、9月10日までに給付
が完了した。

ICT等の教育環境整備

GIGAスクール構想
の一環で電子黒板を小中
学校に11台を導入。児童
1人1台端末と一緒に授
業へ活用していく。

入札日	契約内容	受注者	金額
6月7日	コロナ備蓄品倉庫購入	株平和防災産業	251万3500円
	セキュリティクラウド無線LAN整備	株下田OAシステム	126万5千円
6月24日	町道鍛冶屋沢線舗装補修工事	丸三工業株	1562万円
	防災公園整備事業に伴う量設計業務委託	静岡コンサルタント株	3410万円
	道路補修、初景橋調査設計業務委託	静岡コンサルタント株	770万円
	地域防災計画改訂業務委託	株バスコ静岡支店	693万円
	国土強靱化地域計画策定業務委託	昭和設計株沼津営業所	452万1千円
	地籍調査業務委託	有渡辺測量事務所	550万円
	筏場地区水道管新設工事	東海建設株	921万8千円
	和紙旧公函電子化業務委託	株丸菱行政地図静岡営業所	128万7千円
6月28日	南小学校トイレ改修工事	株大塩組	2141万7千円
6月30日	業務用デスクトップPC購入	株伊豆システムユニティ	74万8千円
7月6日	業務用ページプリンタ購入	株下田OAシステム	319万円
7月14日	浜地区道路施設改修工事	有加畑組	723万8千円
7月21日	(仮称)河津町子育て支援施設建設工事	東海建設株	3億6003万円
7月29日	道路長寿命化修繕計画・橋梁点検業務委託	株東洋コンサルタント静岡東部営業所	1042万8千円
	公共施設等総合管理計画改定業務委託	玉野総合コンサルタント株沼津事務所	379万5千円
	町道縄地線路側改修工事	東海建設株	676万5千円
	地球温暖化対策実行計画策定業務委託	株環境アセスメントセンター	141万9千円
8月26日	見高地区護岸嵩上げ工事	山内組	1925万円
	特定健康診査受診勧奨等業務委託	株現代けんこう出版	282万9200円

会計別決算額

会計の種類	歳入	歳出	
一般会計	51億6719万7972円	49億990万1586円	
特別会計	河津駅前広場整備事業	384万2236円	356万5236円
	土地取得	89万8738円	53万9396円
	国民健康保険	11億1822万3095円	10億5862万9040円
	介護保険	11億27万9765円	10億2413万7418円
	後期高齢者医療保険	1億957万7139円	1億951万8839円
企業会計	収入	支出	
	水道事業	2億6947万9572円	3億1186万8724円
	温泉事業	1億1124万4072円	8776万224円

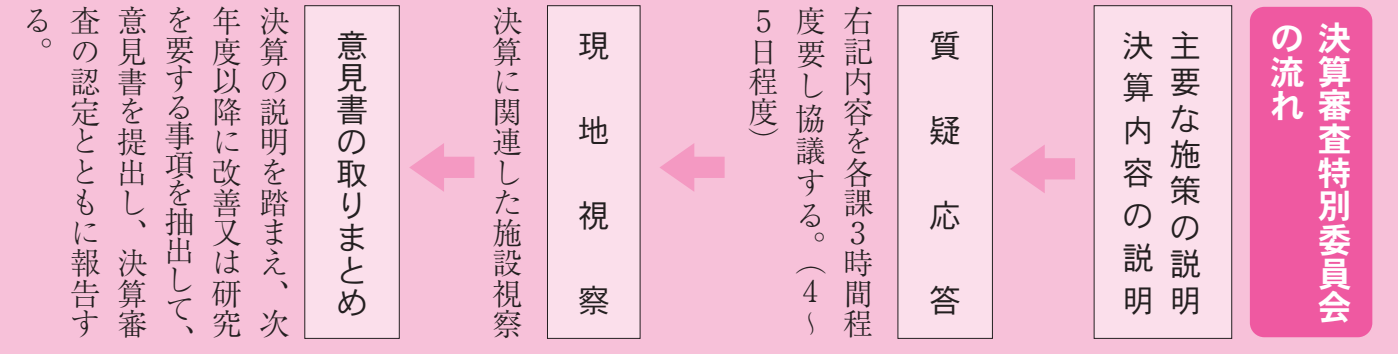
令和2年度決算は、前年度比、歳入33.3%増、歳出30.2%増。防災公園用地購入、新型コロナウ
イルス対策、子育て支援施設建設事業等により、対
前年比11億3942万62円の増額となった。

令和2年度決算審査特別委員会

令和2年度の各種決算審査をするため、決算審査特別委員会を設定し詳細に審議した。(9月9日～22日)192問の質疑が行われ、協議し認定した。2件の付帯意見を提出し、今後の町政に生かすべく委員会を閉じた。

委員長	遠藤嘉規	副委員長	大川良樹
委員	桑原猛	渡邊昌昭	上村和正
	土屋貴	渡邊弘	稲葉静

塩田正治 仲里司
宮崎啓次



総務課・選挙管理委員会

質問：行政事務包括業務委託は、これまでの直接雇用から間接雇用に変わったのか。またコロナ関連の業務上の不具合はなかったのか。またコロナ関連休業等で、問題はなかったのか。

課長：運営初年度であり、命令系統が間接的になり戸惑うことがあった。またコロナ禍ということもあり、休業等の取扱は難しいところもあった。

質問：web会議の為にノートパソコンを購入したということだが、どのような利用方法をしているのか。

課長：町三役1台ずつ各課に1台配布。自席での使用も可能であるが、会議室等で会議アプリを使用して、会議、研修、説明会に参加している。庁舎内利用など今後の課題とする。

産業振興課

質問：荒廃農地と分類される土地が258haとの報告だが、今後の対策などあるのか。

課長：青年就業給付金など、国、県の制度も利用して就農対策の強化を図りたい。

質問：鳥獣害被害対策のために、わな免許の取得費用を補助しているが、狩猟者登録までしないと駆除が進まないのではないか。

課長：わな免許を取得していただき、その後の活用について検討していきたい。

質問：七滝観光センターの跡地の活用計画の進捗を確認したい。

課長：令和3年度中に策定、令和4年度には計画の公表ができるよう考えている。

教育委員会

質問：GIGAスクール構想により一人1台のタブレット端末の整備は行われたが、リモート授業の実施や最終的な目標はあるのか。

局長：国の基準を参考に、各学校でそれぞれ取り組みをしている。

質問：空調工事の入札価格が低かったが、工事内容には問題はなかったのか。

局長：最低価格を設定し、その範囲内の落札額だった。性能、仕様等に問題はない。



給食センター自家発電装置視察

建設課

質問：急傾斜地崩壊対策事業の点検を行っているが、町内では該当箇所はいくつあるのか。

課長：町内全体で10箇所、毎年県の抽出でローテーションを組んで点検を実施している。

質問：道路占用料の不納欠損の今後の取扱は。また埋設物のデータなどは水道温泉課と共有されているのか。

課長：所有者や使用状況が不明のものがあり対応に苦慮している。対応を今後検討していく。

水道温泉課

質問：上水道自家発電装置を設置されたが、工事費の借入金を支払いはいつから発生するのか。

係長：3年据え置きとなり、利息は次年度から支払う。

質問：温泉の第3次給湯計画はあるのか。

課長：継続するのか、廃止するのか判断を3年から5年後に検討を始める。

防災課

質問：家具の転倒防止器具の取付費補助の利用が進まない現状をどうとらえているのか。

課長：進まない理由は不明だが、今後も周知活動を行い、また地区からも呼びかけをしてもらう。

健康福祉課

質問：放課後児童クラブのための体育館に隣接した建物は利用されているのか。また、場所が分かれて支援員は足りているのか。

課長：40人位の児童を受け入れていたため、体育館に隣接した建物も利用している。支援員の配置は4名程度で実施している。

質問：国民健康保険の関係で2課で行っているが、県内他市町では同じような体制で行っているのか。

課長：大きい市町では専門課を設置しているところもある。

町民生活課

質問：合併処理浄化槽の設置替えの補助はされているが、管理費等の補助の検討はなされないか。

課長：他市町の事例を参考に研究したい。



大堰浄水場自家発電装置視察

企画調整課

質問：ふるさと納税の寄付額が約1億3千万円となっているが、実際の町の歳入としてどのくらいか。

課長：歳入として約50%となっている。国の基準内である。しかし今後委託業者との手数料の見直しも必要。

質問：国の制度で集落支援員制度というものがあがるが、公共交通で利用しては。

課長：有償運営は難しいが、福祉の面での活用を模索している。

意見書

1. 行政事務包括業務委託は、初年度において問題が散見された。契約更新時に向けて、改善を図りたい。
2. GIGAスクール構想を活かすべく、先進事例を積極的に調査研究し取り入れる等、先を見据えた柔軟な対応に取り組まれない。

町政を問う

一般質問



わたなべまさあき 議員
渡邊昌昭

動画にて議会の様子がご覧頂けます



ドローンによる梨本地内の土砂崩れの映像

町政を問う

一般質問



わたなべひろし 議員
渡邊弘

動画にて議会の様子がご覧頂けます



新型コロナウイルスワクチン接種会場

質問

新型コロナウイルスワクチン接種状況及び対応について

答え 県の対応方針に沿って取り組んでいる

質問：接種率の状況目標
町長：65歳以上の接種は7月末に終了。64歳以下は10月中旬に終了予定。健康福祉課長：*接種率は65歳以上が90%。64歳以下は85%の予約率。
質問：緊急事態宣言発令による対策本部の対応は
町長：発令により対策本部を開催し対応について

協議決定した。
防災課長：県の警戒レベルに対応した町有観光施設のガイドラインにより閉鎖や利用制限を協議決定した。
質問：舟戸の番屋、今井浜海水浴場は通常営業したのか。
町長：ガイドラインにより本部会議で決定した。

産業振興課長：舟戸の番屋は8月20日から休業。海水浴場は夏季対策協議会にて協議し、開場した。
質問：感染者が出た場合、完治するまでの対応と町民の不安への対処は。
町長：感染者が出た場合は県が対応。町は主に注意喚起やデマ情報の防止などの広報を行う。

質問

観光協会の役割、どのような組織と認識か

答え 町の主要産業は観光。その役割は大変大きい

質問：観光協会にどのような事業を委託しているか。事業計画作成に町との協力体制は。
産業振興課長：観光宣伝事業、海水浴場開設、河津桜まつり事業、交流館の指定管理事業など。事業計画の打ち合わせも行い、理事会の意向など情報共有している。観光について主たる機関と認

識し、法人として収益事業に取り組みことに期待するとともに、協力体制を整えていきたい。
質問：事業計画作成において町との協力体制のもと、必要なお金は出していくような事業の取り組みを求める。交流館の直売所、食堂の運営はどの様に考えているのか。
産業振興課長：売店は主

たる営業収益事業である。コロナ禍で低迷しているが改善に取り組み、ネットショップの開設など新たな事業展開も図っている。食堂は、コロナ禍で休業している。経営状態も良くなり、営業形態について検討している。

質問

職員の新型コロナウイルス感染症に係る対応は

答え 県などの対応マニュアルに沿った形で対応する

質問：政府は感染症予防のためにテレワークなどを推奨しているが、役場職員はどのような対策を取っているのか。
町長：県などの対応マニュアルに沿った形で、管理職による協議、対策本部会議の中で対応を協議している。
総務課長：県で出す緊急

事態宣言措置に係る静岡県の対応方針に沿って対応するように、職員に通知している。
質問：万が一職員が感染した場合、その対応が早期に求められる。河津町独自の対応マニュアルをつくる必要があると思う。
町長：町はまず県の保健所の対応方針に従い対応

することとなる。
総務課長：庁舎の消毒は民間業者に委託する予定。委託できない場合保健所の指導により職員で実施するため、薬剤散布機と消毒剤を備蓄している。業務の継続のためH30・3に策定した業務継続計画が適用できる部分があり対応していく。

質問

ドローンの導入はできないか

答え 連絡協定を結び活動を始めた

質問：今やいろいろな面でドローンによる映像や画像が使われるが導入の予定はないか。
町長：本年伊豆東海岸の市町と県や東急など、関係企業と無人航空機の活用による地方創生に関する連携協定を結んで活動を始めた。今年度橋梁の点検作業についてドロー

ンを活用する実証実験なども予定している。
総務課長：9月3名の職員がドローン検定3級と基礎技能講習を受講した。
質問：有事の際、業者や団体と業務支援提携の予定はないか。
町長：町内にも有資格者がいるので今後検討していきたい。

総務課長：航空機の活用による連携協定を3月に結んだ。協定内容に災害時対応と協力体制の構築とあり、有事においての力強い味方になるものと考えている。
他「消防団の再編成について」、「町長の今後の町政について」2件

町政を問う

一般質問



えん どう よし のり 議員
遠藤嘉規

動画にて
議会の様子が
ご覧頂けます



伊豆市のコミュニティ FM「FMIS(エフエムイズ)のスタジオ」

質問：災害発生時の情報発信はとても難しい。東日本大震災以降、災害発生時の情報発信にコミュニティFMが活躍している。平時には観光情報等も発信出来るため、有用性が高い。今後AMラジオがFMに統合されるが、広域連携でFMラジオ中継局等の設置を検討してどうか。

町長：大変有効な手段かと思う。熱海の土石流で、エフエム熱海湯河原が防災情報継続した事で、高評価を受けた。特に防災時の対応については、その役割が重要だと感じた。地域の情報発信手段としてコミュニティFMの関係については、近隣では伊豆市、伊東市にも放

送局があるが、まだ詳しい情報を持っていない。運用管理の関係、費用も含めた上で、必要ならば検討しなければならぬ。広域連携で中継局をという提案は回答が難しい。広域が良いのか、単独か、今は判断材料が無いので、研究してみたい。他「ツキノワグマへの対応」1件

答え 今は判断材料が無い、研究してみたい

質問 災害時の情報発信に「コミュニティFM」の活用を

質問：熱海市の土砂災害は、違法な盛り土造成地が原因とされる。町内の急傾斜地や盛り土、メガソーラー周辺の安全性と新規のメガソーラー計画の有無等、町の防災対応は。町長：防災ガイドマップのとおり、町内には急傾斜地や土石流、地滑りなどの土砂災害特別警戒区

域が多くあり、万が一の場合、避難等の検討も大事だと考えている。建設課長：緊急点検の対象となるような盛り土造成地は無い。急傾斜施設は県の施設で、毎年数か所を、土木事務所、警察、町で合同点検している。また、風力発電事業者、ソーラー発電事業者、水

力発電事業に対して調査依頼をし、報告を受け、安全性を確認した。副町長：新たに計画中のメガソーラー施設は2カ所。逆川地区、見高入谷根本ノ田地区。森林伐採を伴う大規模な計画や、地区が望まない計画については町も同意できないと事業者伝えてる。

答え 危険な盛り土や造成地は無かった

質問 熱海土砂災害を受けて、町内の安全性調査は

町政を問う

一般質問



さくら幼稚園のフッ化物洗口



おお かわ よし き 議員
大川良樹

動画にて
議会の様子が
ご覧頂けます



質問：7月1日深夜大雨のなか田中地区で火災があった。夜間火災の際、消防団員招集の連絡方法は。防災課長：下田地区消防本部から団長、副団長、本部長と各分団の分団長、副分団長、部長にメールが届き、その後各分団で班長以下の団員に連絡をする。

質問：今回の深夜火災についての問題点はないか、検証改善は。防災課長：今回の火災における消火活動については特に問題はなかったが、下田地区消防本部からのメール着信について気づきにくいといった意見が出た。今後は、全団員登録するなど連絡体制の強化を

検討していきたい。質問：住民への周知は。町長：特に近隣の方々への周知は行ってないが、通常は、現場到着のサイレン音などで近隣火災に気づくものと考えている。質問：夜間火災体制の見直しは。町長：今回の件で団員へのメール配信見直しを行っていく。

答え いろいろな考え方があり難しい

質問 夜間火災についての地域住民への周知は

答え 学校を有効に活用し、放課後など別の枠組みを検討

質問 河津小学校でのフッ化物洗口導入は

質問：歯科保健対策は。町長：虫歯が増え始める3歳前に歯科指導を行い、虫歯予防の意識向上を図っている。また育児相談でフッ素塗布を実施。高齢者についても歯周病検診を行っている。質問：近隣市町での教育機関におけるフッ化物洗口の現状は。教育委員会事務局長：賀

茂地域小学校では4校、中学校では行ってない。質問：当町におけるフッ化物洗口の状況と効果は。町長：虫歯予防対策や歯の質を高めるために、幼稚園では週1回、保育園では週5回、西小学校でも1〜3年生までが実施。健康福祉課長：虫歯予防効果は就学前から実施すると40〜80%、中学校卒

業まで実施すると、していない人と比べ、20歳での虫歯有病状況は50〜58%の効果がある。質問：河津小学校でフッ化物洗口を取り入れては。町長：子供の健康を考えると歯は大事、今後は統合小学校の体制のなかでの検討事項。

町政を問う

一般質問



なか しろ 議員
中 里 司 議員

動画にて
議会の様子
がご覧
頂けます



質問：団塊の世代が後期高齢者75歳の年齢に達したときの、社会保障費の増大について町長の考えは。

町長：現状は自然減による影響が大きいと考える。高齢者を支える働き世代が重要であるが、現実的には予防医療や予防介護などの事業により、健康

質問 社会保障費の増大について町長の考えは

答え 各種計画により施策を進める

質問：団塊の世代が後期高齢者75歳の年齢に達したときの、社会保障費の増大について町長の考えは。

町長：現状は自然減による影響が大きいと考える。高齢者を支える働き世代が重要であるが、現実的には予防医療や予防介護などの事業により、健康

寿命を延ばすことも大切と考える。令和3年3月策定の高齢者福祉計画などにより、現状や将来を分析して、施策を進める。

質問：一人暮らし高齢者の孤独死はあったのか。安否の確認や認知症への取り組み、重点施策は。

健康福祉課長：孤独死は年間数件、対策として民生児童委員の定期的訪問、緊急通報システムや、救急医療情報キットのあつせんをしている。高齢者等の見守りに関する協定を12事業者と締結し、訪問時の異変等の通報業務等協力を得ている。認知症対策と併せた取り組みとして、社会資源マップの作成・配布をした。

質問 公約である河津バガテル公園の再生について検討を進める取り組みは

答え 4年間でバラ園、周辺樹木管理で以前のような素晴らしい公園になった

質問：再生について、何に重きを置き実施したか。

町長：指定管理者の公募をしたが、最終的な実現には叶わず現在も折衝を続けている。バラ園や周辺樹木の管理に力を注いだことで、すばらしい公園となってきた。

質問：再生検討委員会の良い公園づくりとは具体

質問：再生について、何に重きを置き実施したか。

町長：指定管理者の公募をしたが、最終的な実現には叶わず現在も折衝を続けている。バラ園や周辺樹木の管理に力を注いだことで、すばらしい公園となってきた。

質問：再生検討委員会の良い公園づくりとは具体

的にどのような公園か。

町長：いかに素晴らしさを維持して、来場者に親しまれるかが大事。お客さんにも、町民にも親しまれ、誇れるような公園のことだと思ふ。

質問：河津バガテル公園の再生に向けて、地域プロジェクトマネージャー制度の活用は。

他「伊豆縦貫自動車道等について」1件

町政を問う

一般質問



河津町役場



くわ はら たけし 議員
桑 原 猛 議員

動画にて
議会の様子
がご覧
頂けます



質問 河津町業務継続計画(BCCP)の見直し検討は

答え 計画内容の見直しを図る

質問：災害対応のほかに優先的に継続すべき業務は。

町長：本部機能を維持のため、人員確保や電気や水道、通信などの確保が優先される。その他の業務は、各担当部署で決められている応援要請や救護、避難所運営等が主要となる。

質問：庁舎が使用できない

質問：災害対応のほかに優先的に継続すべき業務は。

町長：代替本部等の施設もこの計画には示されているが、河津町の場合は、建物の耐震性や津波の浸水区域外である。水害の心配はあるが、比較的本部機能は維持されると考

質問：計画に基づき、教育訓練の実施、点検、検証、計画の改定、見直し、

い場合の対応は。

町長：代替本部等の施設もこの計画には示されているが、河津町の場合は、建物の耐震性や津波の浸水区域外である。水害の心配はあるが、比較的本部機能は維持されると考

質問：計画に基づき、教育訓練の実施、点検、検証、計画の改定、見直し、

いわゆるPDCAがなされているのか

総務課長：点検、検証については、防災課の新設を含めて、内容の見直しを図る必要が当然ある。訓練をはじめとして、計画、PDCAの実施等についても併せて検討を考

質問 町道の保全について

答え 町民の協力によって進めたい

質問：町道の保全のために町で行う工事と、原材料支給として行う工事との判断基準はあるのか。

町長：類別による管理規定によるが、現場を確認の上、担当課で判断し対応している。

建設課長：損傷の程度、地元負担での整備が現実的ではない場合、技術的に困難な場合、専門業者

質問：町道の保全のために町で行う工事と、原材料支給として行う工事との判断基準はあるのか。

町長：類別による管理規定によるが、現場を確認の上、担当課で判断し対応している。

建設課長：損傷の程度、地元負担での整備が現実的ではない場合、技術的に困難な場合、専門業者

による修繕を行わないと再発の危険がある場合などの判断で、町で実施する場合もある。

質問：原材料支給での整備は、高齢化が進み、作業によっては対応できなくなっている地区も多いと考えるが。

町長：高齢化が進んだことよって整備が難しい実情は理解している。こ

れまでの町の方針の中で、地区の協力を得て早急に対応できている。お互いの協力関係の中で原材料支給や重機の貸出など町費を多く確保してきている。こういった工夫の中で、皆さんの協力によって進めたい。今後とも理解をお願いしたい。

議会だより第91号 読者アンケート

抽選で5名様に
「踊り子温泉会館入浴券」
プレゼント!!

お名前
ご住所
ご連絡先

読者の皆様のご意見を紙面に反映したく、下記のアンケートにぜひご協力ください。
お名前、ご住所、ご連絡先、各質問の回答をご記入の上、FAX又はメール、郵送（封筒）にて河津町議会事務局宛にお送りください。

締め切り
11月末日必着

●FAX番号・E-mailアドレス：下記参照
●郵送先：〒413-0595 静岡県賀茂郡河津町田中212-2
河津町役場 議会事務局
※郵送の際の切手代等は各自ご負担願います。

アンケート回答者の中から抽選で、5名様に「踊り子温泉会館入浴券」を差し上げます。
なお、当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

Q1 「興味を引いた」あるいは「役に立った」記事は？

Q2 「議会だより」の記事で目を通したものは？（□にレ点をつけてください。複数回答可）

- 2P～3P 定例会議案・町長の行政報告
- 4P～5P 決算審査特別委員会
- 6P～11P 一般質問
- 13P 常任委員会活動
- 14P～15P 一部事務組合・私も一言
- 16P 議会の動き・編集後記

Q3 議会だよりに対する満足度は、どのくらいですか？（□にレ点をつけてください。）

- 1. 大変満足
- 2. まあまあ満足
- 3. もう少し
- 4. 不満

Q4 議会だよりの記事への感想、取り上げてほしいテーマなどがあればご記入ください。

お寄せいただきました情報は、議会だよりで紹介させていただく場合があります。また取材、原稿依頼等をさせていただく場合は、広報編集委員会より改めてご連絡申し上げます。ここでいただきました個人情報は、上記の目的以外に使用することはありません。 議会事務局 TEL0558-34-1957

FAX番号 0558-34-1405
E-mail:gikai@town.kawazu.shizuoka.jp

第1常任委員会

7月期議員月例会

7月9日、役場議場で議員月例会を開催した。講師に静岡県交通基盤部政策管理局建設政策課イノベーション推進班、池本紘太主任を迎え、「しずおか自動運転Show CACEプロジェクト」と題し、静岡県が行っている3D点群データの活用、実証実験を行っている自動運転自動車の現状、地域交通が抱える課題について研修会を行った。

3D点群データの活用では、7月3日に発生した熱海市伊豆山地区の土砂災害を事例に、流出した土砂の量をなぜあの短期間で、静岡県は測量できたのか。また、これから起こるであろう南海トラフ巨大地震での津波想定等、防災減災対策や、観光・文化財保護などに



議員月例会

も、3D点群データが活用されていることなど講義を受けた。

自動運転自動車の実証実験では、下田市、松崎町、伊東市等の実例で自動運転の成果と課題を紹介いただき、現状では、地域交通に自動運転を導入するには、まだまだ時期尚早との結論に至った。しかしながら、「地域公共交通」は、町の解決すべき喫緊の課題として、引き続き第1常任委員会で調査研究していくこととした。

第2常任委員会

アフターコロナ・ウィズコロナの町内の産業振興について、6月定例会後4回の委員会を開催し、左記の意見書を取りまとめ河津町議会として静岡県知事に提出した。

第1・第2常任委員会活動

6月29日、役場議員控室で第1常任委員会を開催し、月例会での「公共交通の活用方法・運用方法について」協議した。また、自動運転による公共交通の先進地など、

視察研修ついて進めた。その他、今後の議員定数についても協議した。

- 河津町表彰審査委員会（第1常任委員長）
- 河津町青少年問題協議会（第2常任委員長）

新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書

新型コロナウイルスの感染拡大は、変異株の猛威も加わり、わが国の各方面に甚大な経済的・社会的影響を及ぼしており、経済対策の強化など、引き続き国と地方が一体となり、対策を迅速かつ確・強力で推進していく必要がある。また、感染拡大は、生活様式や働き方、価値観等にも多大な影響をもたらすとともに、新たな社会システムへの転換に向けた取り組みも急務である。さらには首都圏の感染拡大や流入人口の減少により、本町の産業は観光業をはじめとして深刻な影響を受けており、先の見えない不安にさいなまれている。よって、下記事項の実現を強く要望する。

記

- 1 新型コロナウイルス感染症の安静化
 - (1) 県内ワクチン接種の加速と接種率の向上
 - (2) 新型コロナウイルス感染症の医療提供体制の整備
- 2 経済対策等の強化

既存支援策の期間延長、要件緩和、再給付を含め、地域の実情に応じた柔軟な支援を念頭に、各種業種に渡る強力な経済対策を講じるとともに、県の県内観光促進事業「バイズオカ今こそ！しずおか！！元気旅！！」の継続・周知強化対策を講じること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年 9月22日

静岡県知事 川勝平太 殿

静岡県賀茂郡河津町議会

一部事務組合議会

伊豆斎場組合議会

8月24日、定例会が開催された。

計画である。

議案1 令和2年度の決算承認について
令和2年度は、歳入歳出総額1億6554万2千円となった。歳入の主なものは、構成市町の負担金で、河津町は550万3千円であった。歳出の主なものは、長寿命化改修工事の初年度として火葬炉の改修工事費（3炉から2炉）に多額の費用がかかった。

議案2 改築工事請負契約の一部変更契約締結について
工事請負契約金額の440万円の増額変更。内装工事や建具工事における仕様の変更による。

議案3 令和3年度補正予算について
歳入歳出それぞれ143万8千円を増額し、総額3億5937万8千円の予算。その要因は前年度繰越積立金が1627万1千円あり、地方債の発行をやめ、一時借入金で対応できるようにしたことによる。

議案3 令和3年度補正予算について
歳入歳出それぞれ143万8千円を増額し、総額3億5937万8千円の予算。その要因は前年度繰越積立金が1627万1千円あり、地方債の発行をやめ、一時借入金で対応できるようにしたことによる。

下田地区消防組合議会

8月24日、定例会が開催され、冒頭下田市橋本智洋議長の議長辞職願の可決により後任に下田市江田邦明市議が承認された。任期満了により新たに副議長に西伊豆町増山勇町議、監査委員に南伊豆町黒田利貴町議が選任された。熱海市伊豆山の災害派遣の報告の後、専決案件が1件、令和2年度繰越明許費の報告が1件、その他同年度決算認定、監査委員の選任、令和3年度補正予算の3議案が審議され、原案通り可決承認された。議会開催前には議会全員協議会が開かれ、熱

海市伊豆山の被災地派遣の活動報告があり、その後議会運営についてと新型コロナウイルスに感染した2名の市議の説明を求め、1名の市議に対して責任問題や議員辞職を求める意見などがあった。



熱海市伊豆山・捜索活動をする消防隊員たち

事業報告
本年2月1日～7月31日まで組合全体での火災発生は16件、救助出動件数は22件。救急出動件数は1523件、搬送人員は1417人、うち河津町では172人が搬送された。ドクターヘリの要請件数は135件、113人の傷病者が搬送された。また、「新型コロナウイルス感染症患者の移送等に関する協定書」を3月9日、県と締結し、7月31日までに6件の移送を実施した。移送の経費は県の負担となっている。

下田メディカルセンター議会

8月20日、一部事務組合下田メディカルセンター（以下SMC）議会定例会が開催され、病院事業報告および承認2件報告1件議案5件が審議され承認された。

議案9号 SMC病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
地域の要望を受け、日常生活動作の訓練室を新設するため一般病床を現行138床から134床とした。

病院事業報告（抜粋）
SMCの令和2年度の入院患者数は延べ3万2999人、1日平均約90・4人。市町別の構成比で河津町は1350人。外来患者数は延べ6万966人、営業日1日平均約227・8人。市町別構成比は河津町2194人となった。救急患者は延べ2735人、救急車両の受け入れ件数1329件となった。

議案9号 SMC病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
地域の要望を受け、日常生活動作の訓練室を新設するため一般病床を現行138床から134床とした。

議案（抜粋）
議案第6号 監査委員の選任について
河津町桑原猛議員が選任された。



下田メディカルセンター

東河環境センター議会

6月14日、第1回臨時議会が開催された。令和3年度から、管理者が東伊豆町から河津町に移行されたことに伴い、議長及び副議長が改選された。

二年に一度交代する管理者が河津町になった時には、議長は東伊豆町の議員から選出され、副議長は河津町から選出されることになっている。

今回の改選により、議長に東伊豆町の鈴木勉議員、副議長に河津町の塩田正治議員がそれぞれ選任された。

今回の改選により、議長に東伊豆町の鈴木勉議員、副議長に河津町の塩田正治議員がそれぞれ選任された。

私言 真の笑顔

ケアパートナーまほらほら 代表 渡邊規代

私は令和元年11月より、町の福祉サービスや介護制度の利用枠にとらわれない、利用者にとって満足できるサービスを提供したいと思い開業し、3年目を迎えるようとしています。

介護の仕事に携わり約25年になりますが、介護を必要とする方々の生活は、本当に満足されているのか、と感じることがありました。

自宅で過ごしたいという気持ちに寄り添い考えてみると、それぞれの家庭によって求められるものが違うことに気づき、「なんでも屋」こそが必要ではないかと認識しました。

病院に行くのは心細い。お米が無くなって困った。花が好きなので、花壇の花を植え替えてほしい。



利用者の方と楽しく外食する渡邊さん(右)



上村 和正 議長

議会議長の事業

● 賀茂郡町議会議長会

7月

・ 賀茂郡町議会議長会

(西伊豆町)

● 静岡県町村議会議長会

6月

・ 東海四県町村議会議長会

会会長会議臨時会

(愛知県)

7月

・ 中日本町村議会議長会

会会長会議 (富山県)



全国町村議会議長会



・ 全国町村議会議長会臨時総会 (東京都)

・ 全国町村議会議員共済会代議員会 (東京都)

・ 全国町村議会互助会代議員会 (東京都)

・ 全国町村議会議長会理事會 (東京都)

・ 全国町村議会議長会都道府県会会長会 (東京都)

8月

・ 北方領土返還要求静岡県民会議令和3年度第1回理事會および定期総会 (静岡市)

・ 東海四県町村議会議長会会長会議WEB会議



紙面に掲載されていない町議会の活動

6月

・ 河津町コミュニティセンター内覧会



7月

・ 議員説明会

① 河津町過疎地域持続的発展計画

② ゴミ処理有料化

③ 水道料金改定

8月

・ 河津町子ども議会

・ 議会全員協議会 (第3回定例会議案説明)

・ 議会運営委員会 (第3回定例会日程等協議)

その他

・ 例月出納検査報告書受領 (6月、7月、8月)

・ 令和2年度財政援助団体等に対する監査結果報告書受領 (8月)

・ 議会広報編集委員会 (6月、7月)

6月

● 議長に要請の諸会合

6月

・ 静岡県地方議会議長連絡協議会定期総会(書面決議)

・ 国道414号整備促進期成同盟会総会(書面決議)

8月

・ (仮称) 河津町子育て支援施設建設工事安全祈願祭

編集後記

本号の編集が始まったころは緊急事態宣言下であり、そんな中での定例会でした。

編集作業時には宣言も解除されました。ワクチン接種も計画通りに進み沈静化することを願うばかりです。

議会のことをわかっていただけるようわかりやすい紙面を目指しています。多くのご意見を聞かせてください。(渡邊昌)

定例会の日程は河津町ホームページでも確認できます。議会だよりは年4回発行しております。次回は2月発行予定です。

河津町議会では、「虚礼廃止」を申し合わせています。議員の年賀状等、挨拶状は廃止しています。この紙面を借りて挨拶に代えさせていただきます。

議 会 傍 聴 歓 迎 し て お り ま す 。